

中学校社会科単元計画【地理的分野:オセアニア州】

【単元のねらい】オセアニアと他地域との結び付きについて、オセアニアの自然や歴史、政策の転換、貿易相手国の変化などに関連付けて考察することを通して、結び付きがイギリスなどのヨーロッパ諸国からアジアに変化していることを理解させる。

【単元のめあて】オセアニアの特色について、他地域との結び付きをテーマにして調べて白地図にまとめ、説明しよう。

【単元の課題】オセアニアは他地域との結び付きがどのように変化したか。またその理由は何か。

オセアニアの特色について、白地図にまとめ、振り返りしよう。

1
時

【課題】オセアニアには、どのような自然環境や歴史の特色がみられるか。

【活動】自然環境や歴史の特色を地図、気温図、写真、歴史資料等から読み取る。

【まとめ】オセアニアは、オーストラリア大陸と小さな島々で構成され、広大な自然や珊瑚礁が見られる。また、ヨーロッパの植民地であったため、宗教や言語に影響がみられる。

2
時

【課題】オセアニアには、どのような人々が住み、どのような社会を目指しているのか。

【活動】オーストラリアへの移民の出身国別人口の変化とオーストラリアの移民への政策を関連付けて読み取り、政策を転換した理由を考える。

【まとめ】白人以外の移民をしめ出す白豪主義の政策をとっていたが、経済の発展を図るため、アジアなどからの移民を受け入れるようになり、多文化が共存できる社会の実現を目指す多文化主義を国の方針としている。

3
時

【課題】オセアニアと他地域との結び付きには、どのような変化が見られるか。

【活動】オーストラリアの輸出相手国の変化やアジアからの観光客増加をグラフから読み取り、結び付きがヨーロッパからアジアに変化した理由を考える。

【まとめ】オーストラリアはイギリスの影響を強く受けていたが、アジアの国々との経済関係が強くなり、地理的にも近いアジアとの貿易が盛んになって結び付きが強まっている。

【単元のまとめ】オセアニアはヨーロッパの植民地であった歴史があり、特にオーストラリアはイギリスとの結び付きが強く、白豪主義の政策をとっていた。しかし、経済発展を図るために多文化主義に政策を転換し、アジアの国々との経済関係を強めるとともにアジアなどからの移民を受け入れるようになった結果、アジアとの結び付きが強くなっている。

4
時

【単元の振り返り】(視点)白地図にまとめたオセアニアと他地域との結び付きをもとに、ヨーロッパからアジアへと結び付きが強まった理由を記述し、班の中で説明し合うことを通して、単元の振り返りとする。